令和５年度第３回八千代市農業イノベーション計画協議会次第

日時　　令和５年６月６日（火）　午後２時から
場所　　やちよ農業交流センター　みんなのレストラン（飲食スペース）

１　開会

２　議題
⑴　（仮称）道の駅やちよ周辺地区活性化計画について
⑵　平面図（基本設計リニューアル案）について
⑶　工事期間中の対応について

３　その他

４　閉会

別記様式第１号(第四関係)

資料１－１

令和5年6月6日

(仮称)道の駅やちよ周辺地区活性化計画(案)

千葉県八千代市

令和５年１１月

1　活性化計画の目標及び計画期間

計画の名称	(仮称)道の駅やちよ周辺地区活性化計画						
都道府県名	千葉県	市町村名	八千代市	地区名(※1)	(仮称)道の駅やちよ周辺地区	計画期間(※2)	令和6年度～令和8年度

目　標 :(※3)

道の駅やちよ・ふるさとステーションを拠点として，(仮称)道の駅やちよ周辺地区の活性化を図るため，当該施設のリニューアル(老朽化・機能不足・狭隘化の改善)を行い，合わせて農業関連イベント等を拡充し，新たな来館者の確保・交流人口の拡大・農村地域の関連所得の増大を目指した賑わいの創出を目標とする。

具体的な目標として以下の3点を掲げる。
①道の駅やちよ・ふるさとステーションの各店舗(農産物直売所，アイスクリーム店及びレストラン)の計画期間前の売上高2,247,792千円(令和2年度～令和4年度の3か年合計)から，当該施設整備による事業効果発現後(令和8年度～令和10年度の3か年合計)における目標売上高を2,605,134千円(357,342千円増額)とする。
②農業関連イベント等を拡充し，交流人口の拡大を図る。令和2年度から令和4年度に実施された収穫体験・講習会等の合計参加者5,508人(うち地区活性化区域外の方1,722人)を6,384人(うち地区活性化区以外の方1,996人)にする。
③当該地区の農産資源を活用した新たな商品を3年間(令和6年度から令和8年度の3か年合計)で3品行う。

目標設定の考え方

地区の概要:

本計画の対象である道の駅周辺地区は，市の北東部，新川の東側に位置しており，八千代市第5次総合計画における自然環境保全エリアの中にある。新川周辺には水田地帯が広がり，水田に囲まれるようにある台地には里山が見られるなど，緑豊かな自然環境に恵まれた地域となっている。

他方で，農家の全体数は減少傾向にあり，特に販売農家が減少。また，多くの販売農家が後継者不在であり，農業経営を考える中で上位の問題となっている。

当該地区にある，道の駅やちよは，市内の農産物や農産加工品の展示即売，体験型農園を通じて農業経営者と都市住民とのふれあいの場を創出し，平成9年7月の開設以来順調に来館者が増加，平成19年度には81万人を超えるなど，市外からの来館者も多い。

しかしながら，当該施設は開設から26年が経過し，施設の老朽化やその機能が不足している。さらに新型コロナウイルス感染拡大を受け，利用者の回復や更なる地域活性化が急務である。

加えて，令和3年6月に防災道の駅に選定されたことを受け，令和3年度には八千代市，関東地方整備局，学識等からなる「防災道の駅やちよ整備検討会」を立ち上げ，「防災道の駅やちよ整備コンセプト」及び「防災道の駅やちよ整備計画」を策定した。当該計画の中で，単なる防災施設の強化整備のみでなく平常時の道の駅やちよの更なる賑わいを創出し，平常時と災害時ともに拠点として機能するような同施設の整備を位置づけた。

現状と課題

課題①快適空間の確保及び地域農産物販売面積の拡充

新型コロナウイルス拡大等の影響を受け，農産物の販売額は減少傾向ではあるが，道の駅やちよの直売所では，毎日開館時間前に行列が生じるなど，販売額は一定程度維持している。

しかしながら，平成9年に開設した施設は老朽化・機能不足が著しいことや，新型コロナウイルス対策のソーシャルディスタンスの確保が困難な状況のため，施設空間の整理・拡大(快適空間の確保)が急務となっている。地域農産物販売面積についても，農産物の種類の増加等に伴い，狭隘化しているため拡充が必要である。

課題②農業関連イベント等の拡充

市全体として主要な農畜産物であるニンジン，ネギ，ナシ，生乳の出荷量の減少や，耕作放棄地の増加，後継者不在の経営耕地が半数を占める状況にある。

こうした中，道の駅やちよは，農業関係者等の相互交流や農業知識・技術の向上を図ること等を目的に運営されており，当市の第5次総合計画等において，道の駅を拠点とした施策を位置付けている。

これらの現状を踏まえ，農業関連イベント等の拡充による交流人口の拡大，特産品のPR(調理方法・美味しい食し方，農産物の旬などを身近に感じる。)及び新たな担い手の確保が必要である。

課題③新たな来館者の確保及び農村地域の関連所得の増大

農作物の販売額が減少傾向であることなどから，新たな来館者の確保も必要となっていることや，新たな担い手の確保につながる農村地域の関連所得の増大を図る必要がある。

今後の展開方向等(※4)

当該地区の活性化を図るため，道の駅やちよのリニューアル・施設で開催する農業関連イベント等の拡充・地域農産資源を活用した新商品開発を行う。

現状，開館時間前から行列ができ，一定数の農産物を販売しているが，施設の老朽化・機能不足・地域産物販売場所等の狭隘化の改善・施設空間の整理・拡大を行い改善を図るとともに，新たな来館層の確保を図るため，農業関連イベント等を拡充する。

農業関連イベント等については，農業体験事業，農業情報の提供等に関する事業，農業ボランティア推進事業及び農業研修会事業(料理教室・農作物フェア等)を拡充することや，市内キャンプ場・宿泊施設等と連携し，宿泊体験活動の推進を図り，交流人口の拡大・農産物の販売促進・新たな担い手の確保を図る。特に特産品のPR(調理方法・美味しい食し方，農産物の旬などを身近に感じる。)に力をいれ実施する。合わせて地域農産資源を活用した加工の取組推進等により新商品を開発し，新たな来館者の確保及び農村地域の関連所得の増大を図る。

なお，当該活性化計画区域に沿って流れる新川については，広域の水辺利用の促進等を図るための「印旛沼・印旛放水路かわまちづくり計画」に基づき，道の駅やちよに隣接する川辺の水辺拠点整備を進めており，相乗効果が期待できる。

さらに，令和3年6月に国土交通省の「道の駅」第3ステージの取組である「防災道の駅」に「やちよ」が選定されたことを受け，防災倉庫・防災トイレ等の整備を行うが，単なる防災施設の整備のみではなく「農」，「遊び」，「防災」をコンセプトとして，これまで以上の活性化・賑わいの創出を図る。

（参考様式1-1）

資料1－2

農山漁村発イノベーション等整備事業（交流対策型）事業実施計画

計 画 主 体 名	計 画 期 間
千葉県八千代市（ちばけんやちよし）	令和6年度～令和8年度

＜連絡先＞

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
八千代市経済環境部農政課	047-241-6763	047-484-8824	nousei1@city.yachyo.lg.jp

【記入要領】

計画主体名　・市町村名にはふりがなをふること。
・共同で作成する場合は、全ての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には（代表）と記載すること。

計画期間　・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。

連絡先　・共同計画の場合は行を追加し、全ての計画主体の連絡先を記入すること。

メールアドレス　・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

Ⅰ　事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
農産物等の販売促進・賑わいの創出	道の駅やちよの老朽化・機能不足の改善及び施設空間の整理・拡大，狭隘化している地域農産物販売面積の拡充を行い，合わせて農業関連イベント等の拡充を図り，交流人口の拡大並びに農産物等の販売促進・認知度の向上を図る。 また，地域農産資源活用した加工の取組推進等により新商品を開発し，新たな来館者の確保及び農村地域の関連所得の増大を図る。

Ⅱ　評価指標

第1評価指標（必須）	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
農産物等の販売額の増加	357，342千円増	農産物等（農産物直売所・アイスクリーム店及びレストラン）の販売額の増加額：357,342千円 ＝地域産の農産物等の販売額2,605,134千円（目標値）－地域産の農産物等の販売額2,247,792千円（現状値） 目標値＝現状値×（計画面積1,836.035㎡/現状面積1,346.561㎡=1.3634993142）×売場効率85%

第1評価指標の設定根拠
農産物等の販売促進を図るため，道の駅やちよの増改築を行うことから，面積の増加率を現状の売上高に乗算した。

第2評価指標（任意）	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
交流人口の拡大	274人増	計画区域における交流人口の増加数：274人 ＝（計画区域外からの入込客数1,996人【目標値】－計画区域外からの入込客数1,722人【現状値】）

第2評価指標の設定根拠
年間約100回を超える各種講座等（収穫体験・体験農園・酪農体験・料理体験・講習会・イベント等）を実施しており，3年間（令和2年度～令和4年度）で5,508人の方が参加し，そのうち計画区域外の方は1,722人となっている。各種講座等の拡充（面積増加率相当分）や市外の方が参加しやすいよう宿泊施設との連携等を図り，交流人口の拡大を図る。

第3評価指標（必須）	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
商品開発件数	3件	令和6年度～8年度の計画期間中に農産物等を活用した加工品等，新たな商品開発件数
第3評価指標の設定根拠		
農産物直売所，アイスクリーム店及びレストランにおいて，1商品づつ新商品開発を行う。（加工品・総菜・スイーツ・レストランメニュー　等）		

評価期間（原則として3年間の効果発現状況を把握する期間）	評価報告予定年（評価期間の終了直後の9月末日まで）
令和8年4月～令和11年3月	令和11年9月

Ⅲ　温室効果ガス排出量の削減目標

温室効果ガス排出量削減目標	温室効果ガス排出量削減目標の設定根拠

【記入要領】

全般　・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

事業活用活性化計画目標　・事業活用活性化計画目標の項目は実施要領別記3の別紙に掲げる項目から選択するものとする。

評価指標　・評価指標の記載に当たっては実施要領別記3及び「事業活用活性化計画目標の評価指標の設定について」により記入すること。

温室効果ガス排出量削減目標・発電施設の整備を実施する場合に記載

※実施要領別記3の第4の3の（1）のイに記載の発電施設の単独設置を実施する場合、Ⅰ及びⅡは記載不要。

Ⅳ　活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費（千円）	交付金要望額（千円）	交付額算定交付率	交付限度額（千円）	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性	備考
㉖地域連携販売力強化施設	（仮称）道の駅やちよ周辺地区	道の駅やちよ・ふるさとステーションのリニューアル	延べ床面積 1,836.035㎡ 鉄骨造，平屋建	令和6年 ～ 令和8年	八千代市	1,589,200	217,500	1/2	217,500	道の駅やちよの老朽化・機能不足の改善及び施設空間の整理・拡大，狭隘化している地域農産物販売面積の拡充を行い，合わせて農業関連イベント等の拡充を図り，交流人口の拡大並びに農産物等の販売促進・認知度の向上を図る。 また，地域農産資源活用した加工の取組推進等により新商品を開発し，新たな来館者の確保及び農村地域の関連所得の増大を図るためのものであり，活性化計画の目標達成に必要な事業である。	
合　　計						1,589,200	217,500	1/2	217,500		

【記入要領】

・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性を併せて記載すること。

・事業メニュー名欄には、実施要領別記3の別表2の事業メニュー名を記入すること。

・地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。

・事業内容欄は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。

・事業規模等欄は、施設ごとの棟数と床面積、林道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。

・活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性欄は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。なお、別表2の（3）の㉝自然・資源活用施設の単独整備を実施する場合は記載不要。

・「農泊」の取組を実施する場合には、備考の欄にどのように「農泊」と関連するかを明記すること。

（※）「農泊」とは、農山漁村において、日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流を楽しむ滞在（農山漁村滞在型旅行）をいう。

Ⅴ　他の施策との連携に関する事項

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等
6　強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靭化基本法（平成25 年法律第95 号）第13 条に定める国土強靭化地域計画に基づく施策	㉖地域連携販売力強化施設	（仮称）道の駅やちよ周辺地区活性化計画	災害時における広域的な支援拠点として，また，国道16号利用者等の一時的な避難所など地域の防災拠点としての役割を担うための道の駅の整備に併せて道の駅のリニューアルを行い，地区の活性化を図る。

【記入要領】

①交付対象となる事業のうち、実施要領第6に掲げる施策と連携して実施する事業にあっては、連携施策名、連携施策の内容及び交付対象事業との関連性を記載すること。

②連携する施策名には、実施要領第6に掲げる施策を記載すること。

③事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記載すること。

④地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。

⑤必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

Ⅵ　農山漁村発イノベーション等整備事業（定住促進対策型、交流対策型）年度別事業実施計画

			計画の提出年度	新規・変更の区別 新規「1」変更「2」	都道府県 名称	計画主体 名称	市町村名	地区名	地域指定状況 山村振興	過疎地域	特定農山村	半島振興	離島振興	豪雪地帯	急傾斜地	奄美群島	指定棚田地域	計画期間最終年度
事業別内容			R5	1	千葉県	八千代市	八千代市	（仮称）道の駅周辺地区活性化計画										R8
①事業費計																		
②市町村等附帯事務費																		
③県附帯事務費																		
総合計（①+②+③）																		
共同で計画作成を行う場合の内訳																		
	○○町	事業費（ハード）																
		市町村等附帯事務費																
	××県	事業費（ハード）																
		都道府県附帯事務費																
		市町村等附帯事務費																

【記入要領】
・実施要領別記3の第4の3の（1）のイに記載の発電施設の単独設置を実施する場合、計画の提出年度欄には、発電施設等を附帯する活性化施設の整備を実施する際に作成した活性化計画の提出年度を記載すること。

他の施策との連携											
離島振興計画	輸出促進条件整備	耕作放棄地の解消に向けた取組	地域再生計画	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業	定住自立圏共生ビジョン	国土強靱化施策	福祉、教育、観光等と連携した地域活性化に向けた取組	女性の能力の積極的な活用に向けた取組	地域別農業振興計画	次世代農業農村振興計画	指定棚田地域振興活動計画
連携施策は「1」を記載	連携施策は「1」を記載	連携施策は「1」を記載	連携施策は「1」を記載	連携施策は「1」を記載	連携施策は「1」を記載	連携施策は「1」を記載	該当する連携施策の番号「1～8」を全て記載	連携施策は「1」を記載	連携施策は「1」を記載	連携施策は「1」を記載	連携施策は「1」を記載
						1					

全　体　計　画

事業メニュー番号	事業メニュー名	要件類別等番号	事業内容及び事業量	実施期間	事業実施主体	全体事業費	交付対象事業費（A）	交付金額（千円未満切捨）	交付額算定交付率（B）	交付限度額（C）=（A）×（B）（千円未満切捨）
						円	円	円		円
26	地域販売力強化施設	2-第1-(2)	農産物特産物展示販売等施設　1棟　1,836.035㎡	R6 ～ R8	八千代市	1,589,200,000	435,000,000	217,500,000	1/2	217,500,000
				～						
				～						
				～						
				～						
				～						
						1,589,200,000	435,000,000	217,500,000		217,500,000
						1,589,200,000	435,000,000	217,500,000		217,500,000

前年度まで			本年度										
全体事業費	交付対象事業費	交付金額 (D)	事業内容及び事業量	全体事業費	交付対象事業費	交付金額 (千円未満切捨)	県費	市町村費	その他	年度末進捗率 (E)	単年度交付限度額 (C)×(E)−(D) (千円未満切捨)	消費税仕入控除税額
円	円	円		円	円	円	円	円	円	%	円	円
0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0		0	0	0	0	0	0		0	0
0	0	0		0	0	0	0	0	0		0	0

本年度までの累計			翌年度以降(予定)								
			翌年度以降の累計			令和6年度			令和7年度		
全体事業費	交付対象事業費	交付金額	全体事業費	交付対象事業費	交付金額	全体事業費	交付対象事業費	交付金額	全体事業費	交付対象事業費	交付金額
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
0	0	0	1,589,200,000	435,000,000	217,500,000	80,550,000	80,550,000	40,275,000	1,508,650,000	1,508,650,000	177,225,000
0	0	0	1,589,200,000	435,000,000	217,500,000	80,550,000	80,550,000	40,275,000	1,508,650,000	1,508,650,000	177,225,000
0	0	0	1,589,200,000	435,000,000	217,500,000	80,550,000	80,550,000	40,275,000	1,508,650,000	1,508,650,000	177,225,000

	令和8年度			令和〇年度			備　考
	全体事業費	交付対象事業費	交付金額	全体事業費	交付対象事業費	交付金額	
	円	円	円	円	円	円	
	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	

資料２

ふれあい広場（芝生広場）

ピロティー

〔地域供給施設棟〕
F棟

レストコーナー
（74.25m2）
計 148.50m2

特産物販売所
（74.25m2）

※内装別途工事

軽喫茶
厨房
（33.00m2）

事務室
（7.00m2）

準備室
（7.30m2）

浄化槽
（建設）
6500×9800

浄化槽
機械室
（5.27m2）

ゴミ置場
（6.20m2）

浄化槽電気盤

従業員
駐車場2
（15台）

従業員通用口2

ふれあいモール

上部吹抜

〔トイレ棟〕
E棟

女子トイレ（45.66m2）

男子トイレ（37.86m2）

だれでもトイレ1
（7.11m2）

だれでもトイレ2
（7.11m2）

シャワー

通路

自動販売機コーナー

冷水機

〔農産物直売施設棟〕
D棟

農産物直売所
（148.50m2）

下処理室
（38.50m2）

事務室
（11.00m2）

冷蔵庫

廊下4

廊下3

廊下2

廊下1

〔研修棟〕
A棟

研修室1
（74.25m2）

研修室2
（74.25m2）

館内案内板
（壁付）

倉庫
（55.47m2）

〔加工処理棟〕
B棟

販売所
（18.31m2）

別途工事

厨房
（49.38m2）

準備室
（13.02m2）

事務室
（14.66m2）

ゴミ置場
（8.04m2）

ゴミ置場
（6.37m2）

室外機置場
（5.27m2）

倉庫
（12.34m2）

従業員通用口1

〔研修・管理事務所棟〕
C棟

管理事務所
（31.80m2）

書庫
6.85m2
（15.36m2）

ミニキッチン
W1200

案内所
（31.50m2）

館内案内板
（自立型）

打合せコーナー

調理実習室
（112.50m2）

ミカンツルベ置場

足洗い場

堀：コンクリート打ち放しH1.2m

植栽

キュービクル
W2700×D2000

給水メーター

フェンス
H1200+600

従業員
駐車場1
（11台）

レンタサイクル
置場
（40台）

駐輪場
（16台）
（計30台）

駐輪場
（14台）

駐車場
（9台）

駐車場
（4台）

身障者用
駐車場
（3台）

歩行者通路

※以降配置図参照

平面図 １：１００

工名事称	（仮称）やちよふれあいの農業の振興観光交流センター建設（建築）工事				平成23年度
図種面別	平面図	図番	A－１１	縮尺	1：100（A1） 1：200（A3）
千葉県八千代市役所	課長		担当		設計